

おしりの ひかりが ほたるの ことば。
ぴかぴか、ちかちか。ぴか、ちか、ぴかり。
ひかりで れんらく、とりあいます。



オスは2節とも^{せつ}ぴかりと^{ひか}光る。



メスは1節しか、^{せつ}光^{ひか}らない。

ほーたる こい。
こっちの みーずは、あーまいぞ。

にんげんの こどもたちが うたいます。
そのときです！

はやしの なかは、
ひかりの じゅうたん、ひろげたい。
りくの ほたるの おまつりでした。
「みずべを はなれて、へいきなの？」
「りくの ほうが ふつうでしょ」

ほたるの^とかた^{かた}飛び方



ゲンジボタルは、^{なみ}波^{がた}形^とに飛ぶ。



ヘイケボタルは、まっすぐ、すーっと。



ヒメボタルは、ジグザグに^と飛ぶ。

ゲンジ



え？ りくで
くらしてるの？

ヘイケ



うそだあ！

ヒメ



りくの ほうが ふつうでしょ



ゲンジボタル、ヘイケボタルのように、^{ようちゅう}幼虫^し時代^{だい}を^{すい}水中^{ちゅう}ですごす
ホタルは、むしろ例外。一生を通じて陸で生活し、^{りく}幼虫^{せい}がカタツムリやミミズなどをえさにするヒメボタルのようなものが多い。

ばしょを きめたら、へやづくり。
ふるい ようふく めぎすてて、
ゆっくり やすんで、
ごそごそ、もぞもぞ、よいこらしよ。
ようやく りっぱな おとなの ほたる。
おしりも ぴかぴか、ひかります。



上陸した幼虫は、石や落ち葉近くの土のくぼみ、草の根もとなど、
やわらかい土の中でさなぎになる。羽化して成虫になっても数日間は
土の中にとどまる。地上には、雨あがりに出ることが多い。